

平成 22 年 5 月 6 日現在

研究種目： 基盤研究 (B)
 研究期間： 2007～2009
 課題番号： 19320130
 研究課題名 (和文) ライデン大学所蔵シーボルト国絵図の地図史研究
 研究課題名 (英文) Siebold Collection Maps' Historical Lineage with other Prefectural Maps in Edo Era
 研究代表者
 小野寺 淳 (ONODERA ATSUSHI)
 茨城大学・教育学部・教授
 研究者番号： 90204263

研究成果の概要 (和文)：オランダ、ライデン大学図書館にはシーボルトが収集した 21 鋪の手書き彩色の国絵図が所蔵されている。21 鋪の国絵図を高精細画像で撮影し、国内の類似の国絵図と詳細に比較分析した結果、21 鋪の基図は慶長図 1 鋪、寛永図 6 鋪、正保図と寛文図 14 鋪であることが明らかになった。対となる国絵図がある一方で、基図の作成年代も個々に異なる例が多く、シーボルトの手書き彩色国絵図の入手先は複数あったと想定される。

研究成果の概要 (英文)：Leiden University Library in the Netherlands keeps 21 hand-copied prefectural maps that was collected German medical doctor von Siebold, P. F. B. (1796-1866). Research group brought those maps to Japan in order to make high resolution digitalize images. As a consequence of comparative analysis with other prefectural maps in Japan, we can point out following matters. Out of 21 maps, 1 is drawn in Keicyo period, 6 are drawn in Kanyei-period, and 14 maps are drawn in Syoho or Kanbun period. We can confirm the existence of some maps' original one in Japan, though original maps' making periods are different. Thus, we presume that von Siebold had contacts with several persons who could access to hand-made prefectural maps.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2007 年度	2,600,000	780,000	3,380,000
2008 年度	2,300,000	690,000	2,990,000
2009 年度	7,900,000	2,370,000	10,270,000
年度			
年度			
総計	12,800,000	3,840,000	16,640,000

研究分野：歴史地理学・地図史

科研費の分科・細目：人文地理学・人文地理学

キーワード：国絵図, ライデン大学図書館, シーボルト, 地図史, 江戸時代

1. 研究開始当初の背景

オランダ、ライデン大学図書館にはシーボルトが収集した古地図が所蔵されている。シーボルト事件によって、幕府にとって重要な地図は没収されたと考えられ、事実シーボルトコレクションには木版の刊行図が多く、手

書き彩色の地図は少ない。これまで北方図などの個別研究はみられたが、江戸幕府撰国絵図のような大型古地図の本格的な調査は行われてこなかった。そのなかにあつて、1996 年開催の堺市博物館特別展「シーボルト・日本を旅する」では木版図の他に、和泉・隠岐・

備前・備中・志摩・三河・阿波・因幡・伯耆の9か国の手書き彩色国絵図が展示された。この展示とほぼ同時期に、小野寺淳はライデン大学図書館で2度ほど調査を行い、当時一般人が容易に入手することは困難と考えられてきた手書き彩色の国絵図21鋪が含まれていることを確認し、また現地で概略な年代推定を行った。これらの国絵図は17世紀に作成された慶長・寛永・正保期における江戸幕府撰国絵図の写本であり、佐渡以西の西日本の国々が残されていた。ライデン大学図書館の閲覧室でこれらの国絵図の撮影を試みたが、大型地図の撮影は困難であり、十分な研究ができないままであった。

17世紀に作成された江戸幕府撰国絵図の写本に着目した理由は、1820年代にシーボルトがもちかえることができたように、国内にも17世紀の江戸幕府撰国絵図の写本がしばしば伝来しており、なにゆえ17世紀の江戸幕府撰国絵図が写され、それらが収集されたのか、江戸時代の地図史を研究する上で重要な研究テーマと判断されるからである。

2. 研究の目的

そこで本研究では、国内に現存する17世紀の江戸幕府撰国絵図の写本と、表現内容や図形などを比較検討し、シーボルトが収集した江戸幕府撰国絵図の写本に類似するものがあるかを明らかにすることを目的とした。もし、類似する国絵図があれば、シーボルトがどのように17世紀の江戸幕府撰国絵図の写本を入手したのかを考える手掛かりとなる。

3. 研究の方法

初年度はライデン大学図書館にて、基盤研究(A)「地図史料学の構築」(代表:杉本史子)のメンバーとともに原本調査と簡易撮影を行い、また高精細画像の撮影許可の打ち合わせを行った。2年目はこの写真をもとに、国立公文書館、京都府立総合資料館、香取市立伊能忠敬記念館、東北大学附属図書館狩野文庫、臼杵市立図書館稲葉家文書、名古屋市立蓬左文庫など、国内に現存する類似の国絵図を調査した。科研メンバーによる共同調査、あるいは単独の個別調査を行った。3年目は国内所蔵機関の個別調査とともに、ライデン大学図書館と交渉の上、日本への借用許可を得て、岡山大学附属図書館にて高精細画像の写真撮影を実施し、不分明であった細部の調査を実施した。

4. 研究成果

ライデン大学図書館所蔵シーボルトコレクションに含まれる手書き彩色の国絵図21鋪(以下、シーボルト本)について、科研メンバーが表現内容、様式、図形などをもとに

分析した推定年代を簡略に示したのが表1である。いずれも写本であるが、その基図がいずれの時期の江戸幕府撰国絵図であるか、その年代を推定して示している。江戸幕府撰国絵図は、慶長、寛永10年(日本六十余州図)、寛永15年、正保、寛文・延宝(寛文と表記、焼失した正保図の再提出図であるが、正保図と同一とは限らない)、元禄、天保の各時期に作成された。このうち、シーボルト収集の手書き彩色の国絵図は、表1のように、慶長、寛永10年、寛永15年、正保、寛文の国絵図を基図としていることが明らかになった。以下、科研メンバーの研究成果をもとに、年度別に各国絵図の研究結果を簡略に記載する。なお文末()内の氏名は担当者を示す。

(1) 慶長図 慶長図を基図としたと考えられるのは、No.4「和泉國四郡絵図」のみである。「慶長拾年九月日 片桐市正」とあり、すでに吉田敏弘氏(「シーボルトがもちかえた慶長和泉国絵図」國學院雑誌97-4, 1996年)によって紹介された。本科研では、このシーボルト本と同じく慶長和泉国絵図とされる東京大学総合図書館南葵文庫(BJ-82, 83, 2 鋪)と比較した結果、村名と村高記載などに共通点がある一方で、和泉国の図形に顕著な相違点がみられた(出田和久)。

(2) 寛永図 寛永図を基図にしたと考えられるのは、丹後、因幡、伯耆、備前、備中、隠岐の6 鋪である。このうち、因幡と伯耆、備前と備中は対をなしている。

「備前国絵図」は、岡山大学附属図書館所蔵「備前国九郡絵図」(T1-14)と法量、図形ともほぼ同一である。池田家旧蔵の岡山大学本では岡山城の天守閣が五層であるのに対し、シーボルト本は三層であるなど、やや粗略であるが、同一系統の写しといえる。岡山大学本は寛永15年頃に作成(川村博忠『江戸幕府撰国絵図の研究』古今書院、1984年、101~113)されたが、シーボルト本は寛永19年から明暦3年の間に作成された写本を基図として写されたものである(倉地克直)。

「備中国絵図」は岡山大学附属図書館蔵「備中国絵図」(T1-30)と法量、図形ともほぼ同一である。シーボルト本の備前と備中国絵図は岡山大学本の両図と同様に一対をなしている。シーボルト本「備中国絵図」には「延宝七年戊未五月中旬写之」と記されており、シーボルト本の両図は寛永19年から明暦3年までに写された基図を、延宝7年(1679)に写したと考えられる(倉地克直)。

「因幡国絵図」と「伯耆国絵図」は対をなしており、ともに村形に村名のみで村高の記載がない。臼杵市立図書館稲葉家本と鳥取市歴史博物館所蔵本と比較すると、細部で異なる点がみられるが、両図に共通する点は寛永15年の国絵図の特色である交通情報に関する

る注記が多く、寛永 15 年国絵図の写本と考えられる（野積正吉）。

「丹後国絵図」は元和 8 年（1631）以降に作成され、正保期の国高よりも 5 万石少ないなどから、寛永期の写本と考えられる（磯永和貴）。

「隠岐国絵図」の図形は、寛永 10 年の余州図系統とほぼ一致している。しかし、村数と村高は正保期のそれであり、シーボルト本は寛永の余州図系統を基図とし、正保期の情報を加えたものと考えられる（川村博忠）。

(3) 正保図 正保図または寛文図の写本と考えられるのは、以下の 14 鋪である。

「河内国絵図」の石高は正保期のそれに近似し、また狭山藩主北条家の藩主名からも、正保図の写本と考えられる（三好唯義）。

「山城国絵図」を、寛文期の再提出図の原図と考えられる宇治市歴史資料館所蔵「正保山城国絵図」と比較すると、一国高・郡高（斗以下略）が一致しているが、交通路に関する記載が多いことから、シーボルト本は焼失した正保図系統を基図とした写本と考えられる（磯永和貴）。

「近江国絵図」と、正保図とされる滋賀県立図書館「古御絵図[写]（M000-18）」と比較すると、絵画表現の少なさ、村名・村高の記載漏れ、郡高・村数の相違などから、正保国絵図の粗略な写本を基図にして他の情報を加えた可能性が指摘できる（小野田一幸）。

「大和国絵図」は、国立公文書館所蔵松平乗命本と記載内容が近似する。松平本は正保国絵図系統の縮写図であり、シーボルト本も同系統の縮写図と考えられるが、松平本ほど縮小されておらず、松平本よりも整った写本と言える（小田匡保）。

「尾張国絵図」に記載された国高と村数は、現存する正保図系統の中では愛知県図書館所蔵「尾張国 西」と同一であり、大道と小道の描きわけがないなど、表現上の差異はみられるが、正保図系統の写しと考えられる（種田祐司）。

「三河国絵図」は領主区分の記載がなく、江戸幕府撰国絵図の四分の一の大きさである。天和元年（1681）に築城された伊保城、貞享 4 年（1687）に廃藩となる足助藩が記されていることから、この間に正保図をもとに写された縮写図と考えられる（種田祐司）。

「美作国絵図」の畠紙目録に記載された一国高と 12 郡の郡高は、正保郷帳と全く一致する。畠紙に記された森伯耆守（長武）が津山城主であったのは、延宝 2 年（1674）4 月から貞享 3 年（1686）5 月までであり、シーボルト本はこの期間に写された可能性が高い（倉地克直）。

「佐渡国絵図」には正保 4 年完成の将軍家霊屋を表現しているが、年貢高や郡名記載など正保図とは異なる表現方法がみられ、シー

ボルト本の基図は正保期の下絵図（伺絵図）の可能性が高い。シーボルト本は正保期の佐渡全村の年貢高・屋敷高を把握できる唯一の史料として貴重である（野積正吉）。

「能登国絵図」の畠紙目録は小矢部市民図書館所蔵「越中国四郡絵図」のそれと同様であり、これらの基図は本来対をなすものと考えられる。正保図の控図もしくは写図とされる石川県立歴史博物館本と比較しつつ、大目付井上家中のよる内見の指示を検討すると、指示内容がシーボルト本によく反映されている。これらから、シーボルト本の基図は大目付への内見の伺絵図である可能性が高く、シーボルト本は藩領内で利用された正保図の写しと考えられる（野積正吉）。

「石見国絵図」は、国立公文書館所蔵松平乗命本ときわめて近似している。正保図の領分区分の表記では、松平本が平仮名、シーボルト本が片仮名と異なるが、松平本における畠紙目録に記載された郡名の誤記がシーボルト本と共通するなど、シーボルト本は正保図の写しと考えられる（川村博忠）。

「播磨国絵図」は、国立公文書館所蔵中川忠英本に近似している。とくに淡路島の北端のみを描く一方で、鹿ノ瀬漁場を示すと思われる明石湊から延びる砂州のような表現がみられる点に特色があり、シーボルト本の基図は正保図から寛文図の間のものであると考えられる（藤田裕嗣）。

「阿波国絵図」と「淡路国絵図」は対をなし、表現内容と、「十郡改め」後の 10 郡仕立てで作成されていること、さらに図形が近似することから、寛文期の写しであることは間違いない（平井松午）。

「志摩国絵図」は国立公文書館所蔵松平乗命本のそれと記載内容が近似する。寛文 3 年以降に設置された烽火台の記載、延宝 8 年 6 月 27 日に内藤家が断絶することから、寛文期における正保図の再提出図あるいはその直後の図が基図と考えられる（小野寺淳）。

以上より、①写図ゆえ、色料や紙質は江戸幕府撰国絵図と比べると劣り、②シーボルトコレクションの手書き彩色国絵図とまったく一致する国内現存国絵図は無いことが確認できた。すなわち、現段階ではシーボルト収集の手書き彩色国絵図の基図を確定するには至らなかったが、③むしろ、表現内容の上で、佐渡国絵図などのように国内に現存する他の国絵図には無い史料価値を有するものが含まれていることが明らかになった。④シーボルト収集手書き彩色国絵図は 17 世紀の江戸幕府撰国絵図作成に関わる国絵図を基図として写された絵図群であるが、上記の推定年代、装丁や表現内容の検討から、一時期に特定の人物が写したものではない。⑤しかし、備前・備中、因幡・伯耆、阿波・淡路のように、対になる写図もあることから、

いくつかの入手先が想定されることも明らかになった。

なお、本科研で作成した 21 点の高精細画

像はライデン大学図書館に寄贈し、また英語の解説を提供する予定である。

表1 ライデン大学所蔵シーボルト国絵図

	所蔵番号	名称		推定年代	法量 (cm)
1	Ser. 255	Yamashiro	山城国	正保	158×240
2	Ser. 258	Yamato	大和国	正保	220×366
3	Ser. 260	Kawatsi	河内国	正保	136×275
4	Ser. 262	Idzui	和泉国	「慶長10年9月」奥書記載	127×291
5	Ser. 265	Sima	志摩国	正保	127×291
6	Ser. 266	Owari	尾張国	正保	246.5×404
7	Ser. 267	Mikawa	三河国	正保	191×196
8	Ser. 270	Awa	阿波国	寛文	280×300
9	Ser. 271	Oumi	近江国	正保	316×373
10	Ser. 273	Noto	能登国	正保 (伺絵図写)	148×342
11	Ser. 275	Sado	佐渡国	正保 (伺絵図写)	212×294
12	Ser. 277	Tango	丹後国	寛永	113.5×156
13	Ser. 280	Inaba	因幡国	寛永15年国絵図の写	136×151
14	Ser. 281	Hoki	伯耆国	寛永15年国絵図の写	138.5×158.5
15	Ser. 282	Iwami	石見国	正保 (松平本と近似)	284×510
16	Ser. 283	Oki	隠岐国	寛永10年余州図に正保石高	93.5 × 114.5
17	Ser. 284	Harima	播磨国	正保～寛文	219×231.5
18	Ser. 287	Minasaka	美作国	正保	249×361.5
19	Ser. 288	Bizen	備前国	寛永 (明暦頃の写本の写)	186.5×223
20	Ser. 289	Bitsiu	備中国	寛永 (延宝7年写)	189×207
21	Ser. 290	Awadzi	淡路国	寛文	186×256

(法量は橋本暁子採寸)

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計7件)

- ① 野積正吉、江戸幕府撰佐渡国絵図の特徴、富山史壇、査読有、160号、2010年、34-53.
- ② 三好唯義、ライデン大学図書館蔵シーボルト収集国絵図のうち河内国絵図、国絵図ニュース、査読無、25号、2009年、2-3.
- ③ 小野寺淳、シーボルトが収集した手

書きの江戸幕府撰国絵図-ライデン大学所蔵シーボルトコレクションより-、地理、査読無、54巻4号、2009年、43-49.

- ④ 杉本史子・村岡ゆかり・国木田明子・高島晶彦、シーボルトが収集した国絵図・出版図と和紙見本帳について-蒐集と公開の十九世紀-、東京大学史料編纂所研究紀要、査読無、19号、2009年、35-79.
- ⑤ 小田匡保、ライデン大学所蔵の大和国絵図について、駒澤地理、査読無、45号、2009年、37-42.

- ⑥ 川村博忠、現存「正保石見国絵図」の成立に関する一考察-津和野・シーボルト・松本諸本の比較を通して-、エリア山口、査読有、38号、2009年、1-8.
- ⑦ 小野寺淳・青木幸代・橋本暁子・横山貴史、伊能忠敬記念館所蔵の国絵図群、国絵図ニュース、査読無、23号、2009年、2-3.
〔学会発表〕(計14件)
- ① 小野寺淳、ライデン大学所蔵シーボルト収集国絵図の研究概要、科研公開研究発表会(国絵図研究会・科研「地図史料学の構築」の新展開と共催)、2010年3月9日、東京大学
- ② 倉地克直、ライデン大学所蔵の備前国・備中国絵図について、科研公開研究発表会(国絵図研究会・科研「地図史料学の構築」の新展開と共催)、2010年3月9日、東京大学
- ③ 川村博忠、ライデン大学所蔵「隠岐国絵図」の考察-国内現存図との比較を通して-、科研公開研究発表会(国絵図研究会・科研「地図史料学の構築」の新展開と共催)、2010年3月9日、東京大学
- ④ 藤田裕嗣、ライデン大学所蔵シーボルト国絵図の記載内容-播磨国絵図の場合-、2009年人文地理学会大会、2009年11月8日、名古屋大学
- ⑤ 小野寺淳、写される江戸時代の絵図-近世絵図史料論の課題-、歴史地理学会52回大会公開講演会、2009年9月20日、神戸学院大学
- ⑥ ODA Masayasu, On the Pictorial Map of Yamato Province of Japan from the Siebold Collection of Leiden University Library, 14th International Conference of Historical Geographers, 2009. 8. 27, Kyoto University
- ⑦ 野積正吉、ライデン大学所蔵の佐渡国絵図について、国絵図研究会、2009年3月26日、東北大学附属図書館
- ⑧ 小田匡保、ライデン大学所蔵の大和国絵図について、国絵図研究会、2009年3月26日、東北大学附属図書館
- ⑨ 平井松午、寛文度の阿波・淡路国絵図とシーボルト国絵図、国絵図研究会、2008年8月31日、香取市佐原中央公民館
- ⑩ 川村博忠、シーボルト模写「石見国絵図」の検討、国絵図研究会、2008年8月31日、香取市佐原中央公民館
- ⑪ 礮永和貴、伊能忠敬記念館に所蔵されている国絵図の由来について、国

- 絵図研究会、2008年8月31日、香取市佐原中央公民館
- ⑫ 野積正吉、佐渡・能登国絵図について、国絵図研究会、2008年8月31日、香取市佐原中央公民館
- ⑬ 小野寺淳・杉本史子・野積正吉・礮永和貴・大島規江・中尾千明・橋本暁子・横山貴史、ライデン大学所蔵シーボルト収集の国絵図について(1)-志摩国絵図-、歴史地理学会51回大会、2008年5月18日、宮城大学
- ⑭ 小野寺淳、ライデン大学所蔵シーボルトコレクション-江戸幕府撰国絵図について-、茨城地理学会、2007年8月11日、茨城大学

〔その他〕
山陽新聞(2009年10月28日掲載)

6. 研究組織

(1) 研究代表者

小野寺 淳 (ONODERA ATSUSHI)
茨城大学・教育学部・教授
研究者番号：90204263

(2) 研究分担者

出田 和久 (IDETA KAZUHISA)
奈良女子大学・文学部・教授
研究者番号：40128335
平井 松午 (HIRAI SHOUGO)
徳島大学・大学院ソシオ・アーツ・サイエンス部・教授

研究者番号：20156631

藤田 裕嗣 (FUJITA HIROTSUGU)

神戸大学・文学部・教授

研究者番号：10181364

小田 匡保 (ODA MASAYASU)

駒澤大学・文学部・教授

研究者番号：70224243

礮永 和貴 (ISONAGA KAZUKI)

東亜大学・人間科学部・准教授

研究者番号：10201922

大島 規江 (OHSHIMA NORIE)

国際教養大学・助教

研究者番号：90420661

(H19→H20:連携研究者)

(3) 連携研究者

川村 博忠 (KAWAMURA HIROTADA)

元東亜大学・人間科学部・教授

倉地 克直 (KURATI KATUNAO)

岡山大学・文学部・教授

研究者番号：90115840

杉本 史子 (SUGIMOTO FUMIKO)

東京大学史料編纂所・准教授

研究者番号：10187669

三好 唯義 (MIYOSHI TADAYOSHI)

神戸市立博物館

小野田 一幸 (ONODA KAZUYUKI)

神戸市立博物館

種田 祐司 (TANEDA YUUZI)

名古屋市立博物館

野積 正吉 (NOZUMI MASAYOSHI)

射水市新湊博物館・主任学芸員

(4) 研究協力者

青木 充子 (AOKI MITSUKO)

国絵図研究会会員

尾崎 久美子 (OZAKI KUMIKO)

幕末と明治の博物館・学芸員

中尾 千明 (NAKAO CHIAKI)

奈良女子大学大学院文学研究科・院生

橋本 暁子 (HASHIMOTO AKIKO)

筑波大学大学院生命環境科学研究

科・院生

横山 貴史 (YOKOYAMA TAKAFUMI)

筑波大学大学院生命環境科学研究

科・院生